

槍ヶ岳 天狗池山行記録

記 横山高明

期 日：2014（H26）年10月8日～10日

参加者：L 大和義孝（77歳）田邊浩二（77歳）
横山高明（75歳）



上高地バスターミナル前(横山、田邊、大和)

台風18号の通過を待って上高地から槍沢ロッジに宿泊、天狗原の紅葉と、天狗池から槍ヶ岳の眺望を楽しみ、殺生ヒュッテ経由槍ヶ岳山荘に泊り、槍を往復して下山の予定である。

心配は槍ヶ岳に登ってから槍沢を下り、上高地から沢渡まで交通機関の終りである18時までには、到着できるかである。

10月8日（晴れ）

大和宅(3:30)⇒田邊宅(4:00)⇒秦野中井バス停(4:42)⇒御殿場IC(5:00)⇒諏訪SA(6:38～7:15)
⇒松本IC(7:35)⇒沢渡駐車場(8:35)⇒上高地(8:55～9:10)→明神(10:03～10:20)→徳澤(11:15～11:25)
→横尾(12:30～13:00)→一の俣(14:00～14:10)→槍沢ロッジ(15:05)

4時半に秦野中井バス停下の駐車場に車を置き、バス停で待つと大和さんが到着、ザックを積んでから家のカウンターに置いたストックを忘れたことに気がついた、幸い大和さんが貸してくれるとのこと助かる、車内で次の休憩地を相談しつつ御殿場から138号線を富士五湖道路へ進み、5時半近く空は薄明るくなったが、裾野の上に富士山は厚い雲で姿を見せず、今日は好天の筈、甲府盆地に入れば頂きも見えるだろう。

大月JC、笹子トンネルもスムーズに過ぎ、富士山も見えず、鳳凰三山もガス、甲斐駒は肩を見ただけ八ヶ岳も見えず、諏訪SAまで走ってしまった、食事の間に雲が切れ、晴天の朝になっていた。

沢渡へは予定時間より1時間も早い8時半前に着いた、駐車場に居合わせたご夫婦と相乗りで上高地へ釜トンネルを過ぎると、朝日に輝く焼岳が左手に見え、タクシーの運転手が停車し、ここがビューポイントと写真を撮らせてくれた。

大正池から上高地まであつと言う間に到着、駐車場は大型バスとタクシーでいっぱい、河童橋では景色に負けず、カラフルな服装の観光客とリュックを背負った登山者で賑わっている。



見慣れた河童橋



明神

今日10月8日は年一回開かれる「明神池御船祭」で、一の池に11時から2艘の船を浮かべて周回する神事が行われるとのこと、ご夫婦はタクシーを降りてから、約1時間の遊歩、お祭りの開始時間には

余裕をもって間に合うだろう。

横尾までは、巾広い登山道で観光客も、涸沢と槍沢に入山する登山者も多い。

横尾で、道を右に辿ると、登山者の往来も無くなり静かな山道を、槍沢ロッジまで標高差約 220 メートル、木の間から屏風岩を眺め、沢の音を楽しみながら、横尾から約 2 時間 午後 3 時 5 分 ロッジに着いた。



明神館



徳澤園



横尾吊橋



横尾山荘



一の俣



槍沢ロッジ前

ロッジでは風呂に入れる、荷を整理してから熱い湯で汗を流した、温泉の無いこの山中で風呂に入れるとは、大満足である。

9日の行動予定を相談し、槍ヶ岳の往復は無理と考え、天狗池を往復し、槍沢ロッジに連泊。10日下山と決める、今晚は皆既月食、談話室の窓から雲を通して欠けていく様子を暫く見る。

消灯時刻は8時半、蚕棚の上段で睡眠をとるが、何時ものことながら寝付かれず、午前4時を過ぎると起き出す人の物音で横になってもいられず、すっきりしない朝を迎えた。

10月9日(晴れ)

槍沢ロッジ(6:15)→ババ平(6:55~7:05)→大曲がり(7:55)→休憩(8:05~8:15)→天狗原分岐(8:50~9:00)→天狗池(9:50)→天狗池で大休止(9:50~11:00)→天狗原分岐(11:50~12:00)→大曲がり(12:45~13:20)→ババ平(13:44~13:55)→槍沢ロッジ着(14:20)

7日には稜線に雪が降ったという、10月に入れば霜が降り、寒さに慣れない身を考え、長袖のアンダーとカッターシャツで身支度したが風の無い温かい朝を迎えた。

夜明けを待って行動を始めたグループと別に、私達には行動に余裕がある、歳相応の山登りである。

昨日の行動時間がガイドブックより遅めだったので、今日もその積りで登ればよいだろう、

ババ平を過ぎ大曲がり迄1時間40分、槍沢もこの辺りから傾斜を増し、また風も感じてきた。

トップの田邊さんはよいペース、晴天に恵まれ、カッターシャツを腕まくりし、汗をかかないよう登る。

上空にガスがかかり始め、槍も稜線も見えなくなってきた、天狗池で槍が見えればよいが、槍沢は紅葉で真っ赤に染まっていると想像したが、それらしき景色は見えず、18号台風で葉を飛ばされたか、秋が早く訪れたのか、寂しさを感じる。

天狗池へ向かう登山者が時間と共に点のように動いていく、分岐から左へトラバース、約170mの登り、浮き石に気を付けながら登って行くと、緑の葉とくすんだ黄色を残し、天狗池直下では葉を落とし実だけを付けナナカマドを目にする。



ババ平キャンプ場



大曲り(水俣乗越分岐)



紅のチングルマ (撮影大和さん)



天狗原分岐

雲間から槍の穂先が見える迄我慢しようと天狗池で大休止、殺生ヒュッテと槍ヶ岳山荘が雲間から見える。時刻は10時半頃か、南岳へ単独行の女性、下ってきた男性と挨拶を交わす、南岳稜線までのルートを探したが判らず、槍沢側は殺生ヒュッテまで電光形に登山道を追うことができるヒュッテ大槍は稜線近く、眼を凝らしたが見つけられなかった。

11時下山開始、下りは弱い、登った時間と同じ時間を要すると考え、両氏に伝える。

大曲がりに12時50分に着く、尾根を回れば沢がある、水が補給出来る

沢でペットボトルに給水してザックを背負うとき、足を滑らせ岩角に額をぶつけた、傷口から血が滴り、救急ケースから三角巾を取り出し、両氏の助けを借りてガーゼと絆創膏で応急手当をする。ロッジに着いてからガーゼとマキロンで再度傷の手当てをした。

談話室は団体のお客様でテーブルは缶ビールの山、入口で関西から明日槍に登る予定のご夫婦とビールを飲みながら、明日の予定など歓談する、団体のお客様は消灯まで賑やかだろう。



天狗池



天狗池から槍ヶ岳



天狗池から南岳稜線



天狗原分岐から大天井

10月10日(晴れ)

槍沢ロッジ(6:00)→横尾(7:25~7:40)→徳澤(8:35~8:50)→明神(9:35~9:50)→上高地(10:40~10:45)⇒沢渡(11:10)⇒松本(12:20)⇒諏訪湖 SA(12:40~13:40)⇒御殿場 IC(15:30)⇒足柄 SA(15:10~15:30)⇒秦野バス停(16:15)⇒田邊宅(17:00)⇒大和宅(18:00)

今朝もよい天気、露を気にしてスパッツを着けたが不要であった。横尾、徳澤、明神、上高地まで下るだけだ、横尾を過ぎると、ツアーも横尾までコースに組み込まれているのか、ツアー会社の旗と案内書を手にし、革靴を履いた数人の背広姿の男性と行き違う。

沢渡までタクシーを利用、タクシー運転手曰く「今日はバス駐車場とタクシー乗降場の整理員の当番で夕方まで勤労奉仕で上高地に張り付け」とのこと、観光地での生業も苦労はあるようだ。

帰路は大和さんまかせ、高速道路を乗り継ぎ秦野バス停16時15分下車、

高岡外科に寄り、傷を手当てしてもらい、ケガしてから6時間過ぎると縫合できないと、テープで傷口を引っ張り固定、

消毒とガーゼを当てる。

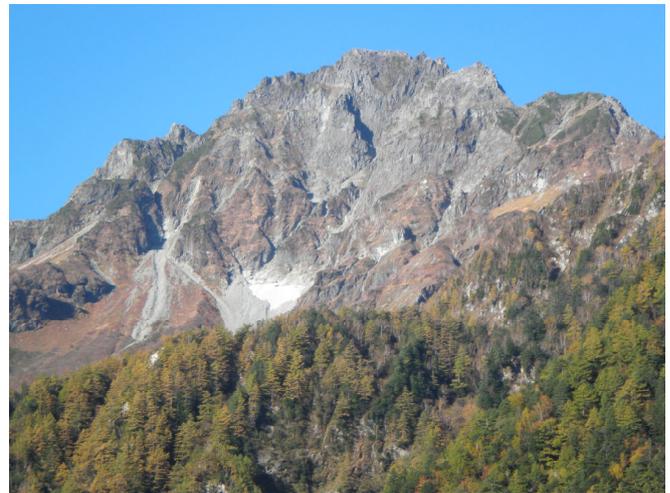
一週間もすればかさぶたもでき、傷は残るが横方向なので目立たないだろうと先生の診断、鏡を見るとガーゼが大きく、おおげさかなとも思うが自業自特しかたがない。

26日の環境登山と65周年記念集会までにガーゼが取れることを願う。

秋の山も終わり、雪の季節を迎えるだろう、天気にも恵まれた3日間であった。



朝の横尾吊橋



前穂遠望

